2023/2/27
アルタベビー浦和園

保護者各位

「自己評価のご報告」

早いもので今年度も残りわずかとなりました。卒園や進級を控える子ども達の１年の成長ぶりを振り返ると、いろいろな場面が思い出されて感慨深いものがございます。今年も子ども達と毎日笑って楽しく過ごせたこと、保護者のみなさまのご協力があってこそだと思っております。いつもたくさんのご理解とご協力を頂き本当にありがとうございます。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただき、ここにご報告申し上げます。

1.保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」 アルタベビー浦和園		回答率:57.89%		
No	質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	72.73%	18.18%	9.09%
2	職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	100.00%	0.00%	0.00%
3	職員の言葉遣いや態度、服装等が適切だと感じることはありますか	100.00%	0.00%	0.00%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	90.91%	9.09%	0.00%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	72.73%	27.27%	0.00%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	100.00%	0.00%	0.00%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	100.00%	0.00%	0.00%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	90.91%	9.09%	0.00%
9	当園に満足されていますか	100.00%	0.00%	0.00%

2023/2/27
アルタベビー浦和園

【項目１】
7 割の方にご理解を頂いており、3 割の方に届いていないという現状がわかりました。
当社の保育理念は日々の丁寧な関りによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子どもを育てるというものです。この目標を軸に保育計画を立て、子ども達の主体性を大切にしながら保育を展開しています。今後私たち職員も保育理念をしっかりと理解し、日々の保育に落とし込むことで保護者の皆様に保育理念がしっかりと届くように工夫していけたらと思います。

【項目 2】
ご回答いただいた方全員に「はい」とお応え頂き、ありがとうございました。日々の保育を通して、保護者の皆様にそのように感じて頂けておりましたことを大変嬉しく思っております。小規模園の最大のメリットは一人ひとりの気持ちに寄り添い、一人ひとりの成長段階や興味・関心に合わせて保育が出来ることだと思っております。初めて保育園に入園した子や、イヤイヤ期を迎えて自己主張が出来るようになってきたり、ご兄弟が産まれてお兄さん、お姉さんになった子など、この 1 年の中で小さな子ども達にも様々な背景があり、変化がありました。そうした子ども達の気持ちや成長に常に寄り添い続けながら、保育することを心がけてまいりました。また、日々の送迎時のお話や連絡帳などから保護者の方々のお子様への深い愛情を感じ、私たちも保護者の皆様と同じようにお子様を愛し、一緒に成長を喜び合っていきたいという気持ちを強く感じることが出来ました。

【項目３】
子ども達は保育園に通いながら日々たくさんの言葉を吸収しており、どんな言葉でもすぐに真似をするため、正しい言葉遣いを普段から意識するよう心掛けております。また、社内研修を通して職員が敬語や丁寧語の使い方を学ぶ機会を作っております。
服装等につきましては当社の服装規定を順守し、清潔感のある身だしなみを心がけております。

【項目 4】
毎日の掃除と玩具や子どもたちの触れる場所の次亜塩素酸による消毒を行い、毎日清潔な生活環境を心がけております。また、子ども達にもお片付けの習慣や環境美化意識が身につくように、園内の整理整頓を私たち保育士も気を付けて取り組んでいきたいと思います。

【項目５】
3 割の方が「どちらともいえない」と回答されております。コロナ禍において、感染症対策

には特に気を付けて参りましたが、園内でコロナの感染者が出た際には登園自粛等にご理解とご協力を頂きありがとうございました。おかげさまで園内で大きなクラスターとなることもなく、コロナ禍を乗り切ることが出来ました。しかしながら、胃腸炎などの感染力の強い季節性の風邪等は、一気に感染が広まってしまうことがあり、冬季に入り体調を崩してしまう子も多かった為、保護者の方とお子様の様子をこまめに伝え合いながら、感染拡大防止に努めてまいりました。引き続き換気や手指消毒、玩具のこまめな消毒や清掃等を行い、職員自身の体調管理にも留意しながら過ごしていきたいと思います。
安全面に関しましては、怪我や事故が起こらないように常に園内の環境整備に努めております。子ども達の使っている玩具の点検や、周辺環境を確認し、配慮しています。また、合同保育時は特に 0 歳～2 歳までの異年齢で過ごすため、みんなで安全に仲良く遊べるように毎日必ずお約束事をお話してから遊んでいます。玩具の貸し借りについてや、玩具を投げたりせず大切に扱うこと、小さいお友達に優しくすること、お部屋では走らず歩いたり座って遊ぶこと。2 歳児さんを中心にこのお約束を守って遊ぶという習慣が自然と身につき、小さいお友達に気をつけたり優しく接したり、玩具を大切にしながら、合同保育の時間も安全に過ごすことが出来ております。
戸外活動時については、必ず複数人の保育士で引率し、子ども達が安全に歩けるコースでの散歩を楽しんでおります。基本的には毎日戸外遊びを行いますが、気温や天候に合わせて行先や活動内容、時間を考えたり、天気予報や雨雲レーダーなどで散歩時の天候を出発前にチェックしながら悪天候の場合は中止しています。

【項目 6】
お子様が園で体調を崩した際には早めのお迎え等にいつもご協力を頂きありがとうございます。また、連絡帳や口頭で日々お子様の家庭での様子や体調についてお知らせ頂いているおかげをもちまして、私たちも子ども達の体調の変化にすぐに気づいて対応することが出来ております。怪我の対応につきましては、迅速な応急処置を心がけております。また、年に 1 度は救命救急講習を受講し、緊急時の応急手当や安全に関する知識を深めるように努めています。

【項目 7 】
給食やおやつにおいては、「楽しく食べる」ということを一番大切に考えています。苦手なものを無理やり食べさせてもきっと好き嫌いは減りませんが、楽しい食育活動を取り入れながら色々な食材に興味を持ち、提供の仕方を工夫することで子ども達が自ら「これはなんだろう？おいしいのかな？」「食べてみたい！」「みんなと食べるとおいしいな」と思う気持ちを育んでいきたいと思っております。特に離乳食期はどのように離乳を進めていって良いのか悩まれる保護者の方も多いと思いますが、育児書に載っている月齢にあまり捉われすぎず、お子様一人ひとりの個々のペースに合わせて進めていけるようにお家の

方と協力していきたいと思っております。食育活動としては調理員とも連携して野菜の栽培、行事食、季節の食材に触れる、クッキングなどを積極的に取り入れています。

【項目 8】
より良い保育を提供するために、保護者の方々のご意見やご要望にきちんと耳を傾け、積極的に取り入れていきたいと思っております。場合によっては園として難しいこともあるかと思いますが、その際でも理由の説明などきちんとした対応をしていけるよう善処してまいります。引き続き、どんな些細なことでもご不安やご不満、ご要望等ありましたら職員にお伝え下されば幸いです。

【項目９】
ご回答いただいた方全員に満足頂いているとのご回答を頂き、大変嬉しく思います。こちらの結果に甘んじることなく、当園を利用されるお子様たちや保護者の皆様が日々安心して満ち足りた時間を過ごすことが出来るように、職員一同精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2.職員自己評価に関して

当園保育士に実施した自己評価のまとめです。今年度も保育理念を目標に様々なことに取り組んでまいりました。職員一人ひとりが一年を振り返り、今後もより良い保育を目指して励んでいけるように、協力し合って頑張っていきたいと思います。

<当社姿勢目標の順守に関して>
・連絡事項は必ず引継ぎ簿に記入し、引継ぎ簿と照らし合わせながら正確に保護者の方へ伝達したり、保育士間で情報共有をすることが出来た。
・共同で使用しているスペースはみんなが快適に使いやすいよう、こまめに整理整頓することを心掛けた。
・子どもや保護者の方に明るく安心した印象を持ってもらえるよう、清潔で動きやすい服装や、勤務態度を心掛けた。
・園内で関わる全ての人に笑顔で元気よく挨拶するようにしている。
・挨拶等の基本的なことをはじめ、自分の得意とすることを伸ばすことが出来た。また、常に感謝の気持ちを忘れず、園内の雰囲気がより良いものとなるように努めた。
・職員が各々得意な面を発揮したりお互いを補うことが出来る人間関係であるため、日々心に余裕を持ち、モチベーション高く勤務が出来ている。

<コドモンを用いた保育計画に関して>

・連絡帳や日誌、月案等が ICT 化されたことで作業がしやすくなり、その他の仕事もより丁寧に進めることが出来た。
・連絡帳は文章だけではなく写真も送信することが出来るので子どもたちの日々の様子が写真と合わせてより保護者の方に伝わりやすくなった。
・担任以外のクラスの子の家庭での様子や連絡事項もすぐに確認することが出来るため、保育者間の情報共有がスムーズに行えた。
・お知らせ配信やアンケート機能などの利用により、保護者の方へ迅速な情報共有、伝達が出来た。また、紙印刷がほとんどなくなり、資源の節約にもなった。
・日々の連絡帳の内容などから子どもの興味があるものなどを把握し、すぐに保育計画に取り入れることが出来た。
・連絡帳等において、ペーパーレス化ですぐに連絡事項を確認出来る点などが業務効率に繋がっていると感じた。

<保育の成果集(Libro)に関して>

（感動を伴った保育の成果を記録し、その保育手順を社内で共有しています。以下、当園職員が投稿したものの一部になります。）

【タイトル】「廃材の再利用」
【保育の場面】
お店屋さんごっこでの、おもちゃ屋さんの品物作りにて
【環境構成と手順】
段ボールや牛乳パック、ヨーグルト飲料などの廃材を用いて、パズルやパクパク人形、新幹線といったおもちゃを作成した
【感動を伴う保育効果】
保育士が廃材から作ったおもちゃを、子ども達が喜んで手にしていた
【今後の課題】
身近なものに再利用して作られたものがあることを少しずつ知っていき、環境に優しい社会の構築が大切であることを認識した人物への成長に結びつくような機会に触れられるようにしたい

【タイトル】「まだやりたい」
【保育の場面】
ツリーの飾り付けが終わってもまだやりたかったようで、次の活動に移ることができなかった。

【環境構成と手順】
ツリーの飾り付けが終わり次の活動に移るよう声掛けをしても、飾りを離さずに嫌がってしまう子がいた。「飾り付け楽しかったね」「まだやりたかったんだね」と子どもの気持ちに共感しながら、「これから一緒に〇〇しよう！」と次の活動に興味を持てるような声掛けをしたところ、飾りを置いて自分からスムーズに次の活動に移ることができた。
【感動を伴う保育効果】
自分から次の活動に移ることができた。
【今後の課題】
その時の気分によって次の活動に移ることが難しい時もあるので、子どもの気持ちに寄り添いながら興味が湧くような声掛けをしたい。

【タイトル】「自立に繋げる」
【保育の場面】
お人形（メルちゃん）で遊んでいる時、ある子がメルちゃんのお洋服に付いている大きめのボタンを一生懸命に留めようとしていた。
【環境構成と手順】
ボタン留めや、ポットン落としなどの遊びや、自分で靴下を着脱したり、ジャンパーのジップを上げるなどの身支度を通して、手指の巧緻性を高める機会を持てるようにする。
【感動を伴う保育効果】
自分でやりたい様子だったので、すぐには手助けせず見守るようにし、試行錯誤する時間を持てるようにした。頃合いを見て少しずつ手助けをし、最終的にボタンを留められると嬉しそうな表情を見せ、また、できたことを互いに喜び合った。
【今後の課題】
できてもできなくても、子どものやろうとする気持ちを認めることで、自己肯定感を身につけ自立心に繋がるようにしていきたい。

【タイトル】「色」
【保育の場面】
お片づけの時間
【環境構成と手順】
・ブロックを色ごとに片付ける
・「〇〇ちゃんは青色のブロックさんを探して箱に入れていこう」とゲーム感覚でみんなでお片付けを楽しむ
【感動を伴う保育効果】
最近色んな色の名前がわかるようになり、色に興味が出てきた子が多いので好きな色のブ

ロックを探しながら楽しくお片付けが出来た。お片付けが苦手な子も、積極的に取り組めたのでよかった。
【今後の課題】
子どもの興味関心を日々の保育にさりげなく取り入れられるように、アイデアをたくさん持っておきたい。

【タイトル】「先生のこと覚えたよ」
【保育の場面】
室内遊び
【環境構成と手順】
・無理に急接近で関わろうとせず、子どもの気持ちを組む
・笑顔や優しい声かけは常に行う
・「この人は安全」と子ども心ながらに分かるように、他の子や、その子が慣れている保育者や、保護者とも丁寧に笑顔で関わる
【感動を伴う保育効果】
配属されてしばらく、人見知りで泣いてしまう子。慣れている保育者の姿が見えなくなると泣いて後追いをしていたが、慣れてくれたのか特定の保育者の姿が見えなくても泣かなくなり、笑顔で近付いてくれた。
【今後の課題】
信頼関係をもっと築いていけるように、子どもの目線で丁寧に楽しく関わっていく。

【タイトル】「1 人の遊びからみんなの遊びへ」
【保育の場面】
登園後の自由遊びでブロックをしていた際、お城を作っていた子どもが「作ったよ」と見せに来た
【環境構成と手順】
適切な言葉掛けをしてその子の意欲を認めつつ、次に繋がる提案をして子ども同士での協同へと援助する。
【感動を伴う保育効果】
上手にできていることを褒め、作った意欲や頑張りを認めると、更に大きなお城作りを行うようになった。また、楽しそうに作る様子を見た周囲の子ども達も次第に興味を持ち始め、一緒に協力して作り出し、遊びが広がっていった。自分ひとりで遊ぶ楽しさだけでなく、他者と協力・協同する素晴らしさを実感できたのではないか。
【今後の課題】
まずはその遊びを始めた子どもが満足した気持ちを持てるよう、無理強いせず遊びを広げていきたい。

<子どもとの正しい接し方(Luce)に関して>

・子どもの月齢や一人ひとりに合った声掛けを行い、保育者の思いを伝えるようにしている。
・日々の活動や遊びの中で、保育者も一緒になって楽しむ姿をみせている。
・子どもが不適切な行動をしてしまった場合はただ「ダメだよ」と声掛けを行うのではなく、どうしたら良かったかなどを分かりやすく伝えるようにしている。
・子ども同士のトラブルや活動に参加することを嫌がる子への声掛けは難しいこともあったが、思いを受けとめ、共感しながらも一人ひとりに合った声掛けや援助を考え、実践しながら保育を行った。
・身の回りのことが自分で出来た時や新しいことが出来た時にはたくさん褒めて、喜びを共有したり、自信が持てるようにした。
・自分の気持ちをまだうまく表現できない子へは、気持ちを汲み取り代弁しながら共感するように心がけている。
・戸外遊びの際などは保育者も様々な発見をしたり疑問を投げかけ、自然物を観察したり触ったりと興味や視野を広げて遊べるように工夫をした。
・社内で良好な人間関係を築けていることで、自分自身も心に余裕を持って保育を楽しむことが出来、子ども達にも正しく丁寧な関わりが出来たと感じる。

3.園としての自己評価に関して

・当社（全園共通）の保育理念（国際人を育成する）に関して

子ども達が安心・安全に過ごせる環境づくりに配慮しながら、子ども達の主体的な経験を通して元気に身体を動かすこと、自我や態度の育ち、言語の獲得、人との関わり、表現することを楽しむことなどを保育の様々な側面から育んでいけるように保育計画を立てていきました。今年度はコドモンの導入による業務の ICT 化によって業務軽減が出来たため、職員は軽減できた時間をより子ども達と向き合う時間とすることが出来、保育の質の向上にも繋げることが出来ました。コドモンにつきましては年度途中での導入、キッズリーからの切り替わりとなり保護者の皆様にもご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。0 ～2 歳児までの乳児期においては愛着形成を基礎に、基本的な生活習慣を身につけさせながら、今後も当園の中で出来る最善の保育とはなにか、職員一同考えを出し合いながら進めていきたいと思います。

2023/2/27
アルタベビー浦和園

・当園の保育目標に関して

<当園の目指している子どもの姿>
自分で出来ることを喜び、主体的に行動できる子
笑顔にあふれ、人に優しく、自分のことが大好きな子
よく食べ、よく遊び、よく眠り、いきいきと生活が出来る子

子ども達の主体性を育むためにはまず保育士との信頼関係をしっかり築き、安心して生活が出来ることが大切ですが、今年度は特に担任保育士との結びつき（信頼関係）がしっかり作られていることを子ども達の様子から感じられました。0 歳児クラスについては年度途中で担任の入れ替わりがあり申し訳ない思いでしたが、子ども達が新しく赴任した担任保育士ともすぐに安心して慣れ親しむ姿が見られたり、他のクラスの保育士へもしっかりと甘えられる姿が見られたので安心いたしました。保育士たちが何気ない話で笑い合っていると、まだ言葉のわからない小さなお友達も「あははっ」とつられて笑っている姿をよく見かけるのですが、園内の職員の雰囲気が子ども達にも影響を与えていると感じ、当園のアットホームな温かい雰囲気を今後も大切にし、人間関係の構築の良きお手本となっていきたいと思っています。子ども達は保育士のことをよく見ていて、特に 2 歳児さんは保育士の真似をして 0，1 歳児さんに優しく声掛けをしたり、日々のお約束事を通して相手への思いやりの気持ちを育むことが出来ました。卒園後もいきいきと生活し、自分や自分と関わる人たちを大切にしながら過ごしていってほしいと願っています。
基本的な生活習慣に関しては、衣服の着脱やお散歩準備、食事やトイレトレーニングなどどのクラスも年齢や個々に合わせた援助を行いながら徐々に身につけることが出来ました。また、「自分でやりたい」という気持ちを大切に、難しいことにも自分で挑戦できる環境作りを心掛けていきました。
気候や子ども達の興味に合わせて様々な公園に出かけたり、色々な散歩コースを楽しんだり、室内では音楽遊びを中心に様々な活動を取り入れ、たくさんの刺激を受けて感性を育んでいきました。日中満足のいく活動が出来た時には「楽しかったね」「また〇〇やりたいね」と子ども達もいきいきとした姿を見せたり、食欲の増進や質の高い睡眠へと繋がっています。
今後も子ども達が自ら主体的に周囲と関わり、いきいきと活動が出来るように援助していきたいと思います。そのために保育士が子ども達の思いや考えを引き出し、保育教材や環境を整えつつ子ども達の心に寄り添う保育を心掛けていきたいと思っております。
引き続き当園の保育にご理解、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。今年度も多大なるご支援をありがとうございました。